

平成24年度 注目事業を紹介します

政策1 16億2,470万円

環境と調和する都市の構築

環境教育等推進事業
468万円

環境広場などを通して、環境保全への意識啓発をしていきます。

- ◆環境イベント
 - えべつ環境広場を開催
- ◆小・中学生向け教育
 - 環境学習(総合学習)
 - ごみ減量体験講座
 - 出前環境学校
 - 自然エネルギー実験室
 - 夏休み環境学校(水辺の自然塾)
 - 「弁天丸」で学ぶ石狩川
- ◆大人向け教育
 - 市民環境講座



環境のこともっと知ろう

市内の小中学生を対象に、夏休みには自然と触れ合う「夏休み環境学校(水辺の自然塾)」と「弁天丸で学ぶ石狩川」、冬休みにはエネルギーについて学ぶ「自然エネルギー実験室」を開催します。また、えべつ環境広場では、市内で活動するグループなどがさまざまな視点から環境問題についてアピールし、環境について考える場を提供します。



昨年の夏休み環境学校(水辺の自然塾)の様子。早苗別川では水生生物の採集に挑戦し、講師による解説に皆真剣に聞き入っていた。

政策2 17億6,905万円

明日につながる産業の振興

総合特区推進事業
1,203万円

【新規】

国際戦略総合特区の指定を受けた北海道フード・コンプレックス構想を北海道や札幌市などと連携して推進し、食品の付加価値を高める研究・産業都市への発展を図ります。



北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区(フード特区)

フード特区の指定を契機に、市内企業・大学がさらに連携を強め、地域経済を活性化させていく必要があります。食品の臨床試験の充実を図り、企業誘致の基盤整備を進めます。



2月に開催された北海道フード・コンプレックス国際戦略総合特区の説明会の様子。市内の事業者から熱心な質問が相次いだ。

都市と農村交流事業
89万円

- ◆直売所、貸し農園、農産物加工品を活かした市民交流事業
- ◆札幌圏を対象とした農業体験ツアー



農産物加工品イベントの開催

冬期間、女性農業者グループによる農産物加工品販売イベントを開催し、生産者と消費者の顔の見える関係づくりの場を提供します。



3月に江別河川防災ステーションで開催されたイベント「農家のかあさん土曜日」の様子。

工業団地環境整備事業 1,855万円
RTNパーク造成事業 1億1,245万円

【新規】

研究機関や4つの大学が近隣に集積し、交通の便も良いRTNパークの優位性を活かした積極的な企業誘致を推進するため、分譲地の整備や造成地の拡大を進めます。

地域プロモーション推進事業
176万円

- 札幌圏の子育て世代をターゲットに、江別の魅力をPRする取り組みを実施します。
- ◆観光ルートマップの作成
- ◆【新規】観光バスツアーの実施

政策3 154億3,744万円

安心を感じる保健・医療・福祉の充実

乳幼児等医療費 1億2,409万円

子育て家庭の医療費負担を軽減するため、小学校修了前児童にかかる医療費の自己負担の一部を助成します。

新築団地建替事業 2億8,377万円

市営住宅（新築団地）の建替事業を進めます。

- ◆A棟建設工事に着手
- ◆屋上太陽光パネル設置



子育ての負担を軽減



入院時の医療費自己負担について、3歳から小学校修了前までの児童については現行の給付制度を拡大し、子育て世代の負担軽減を図ります。



環境に配慮したインフラ整備

地中熱を有効に活用するヒートポンプで野幌駅北口広場の歩道にロードヒーティングを行います。

環境に優しいシステムで、環境と調和した持続可能な街づくりを進めます。野幌駅北口広場のイメージバス



政策4 55億427万円

安全で快適な都市生活の充実

江別の顔づくり事業

11億3,761万円

- ◆商業等活性化事業 ◆連立事業・街路事業等
- ◆野幌駅周辺土地区画整理事業
 - ・野幌駅周辺土地区画整理事業執行に係る補償費、仮換地および移転物件調査委託
 - ・野幌駅北口広場地中熱ヒートポンプ式ロードヒーティング など

災害対応物品整備事業

1,270万円

【新規】災害発生時に必要な施設・物品を計画的に整備します。

- ◆非常用電源設備の整備
- ◆防災備蓄品の整備

政策5 23億3,511万円

豊かさと創造性を育む生涯学習環境の充実

校舎屋体耐震化事業 8,840万円

- ◆第二小校舎の改築基本設計・実施設計
- ◆江別太小校舎・体育館の改築基本設計
- ◆体育館の耐力度調査
- ◆第一中校舎の改築基本設計

小中学校学習サポート事業 820万円

地域にいる退職教員などボランティアを活用し、小中学校においてティームティーチングや少数指導など、理解度に応じた学習支援を行います。
【拡大】週2回→週3回



安心して学べる校舎を

子どもたちが安心して学ぶことができるように、また、地域の避難所として

の機能をより高めるために、江別太小学校・江別第一中学校の基本設計と江別第二小学校の実施設計を行い、学校の耐震化を進めます。



江別第一中学校

政策6 1億1,240万円

市民協働によるまちづくり

地域自治活動支援事業 1,709万円

- ◆加入世帯規模、事業実施状況に応じた自治会活動費補助

政策7 124億5,704万円

計画実現に向けて・その他

ウェルカム江別事業 115万円

江別市への転入増加を図るため、江別市外の人に「住みやすいまち 江別」をPRします。

- ◆パンフレットを住宅展示場に設置
- ◆ホームページでのPR
- ◆【拡大】大学と連携したPR動画の作成